

水産総合研究センター

野中 太緒

平成27年度入庁

水産



### 異動経歴

H27年採用	水産総合研究センター
H29年	農林水産部漁業資源課
R2年	水産総合研究センター 種苗生産研究所

## Q1 仕事の内容を教えてください。また、現在の仕事の魅力や、やりがいを感じる瞬間について教えてください。

研究員として、マコガレイなどの放流用種苗の生産、技術開発及び栽培漁業の普及活動に携わっています。漁業資源を管理し、安定した漁獲につなげるために栽培漁業は深く関わっており、魚の飼育や観察が好きな方にはとても魅力的な仕事だと感じています。時々、飼育していた魚が市場に水揚げされた情報が入ることがあり、私たちの育てた魚が大きく育ち戻って来ていることにやりがいを感じます。

## Q2 千葉県を選んだ理由を教えてください。

私は小さい頃から生き物が大好きで、学生時代から千葉県の海で生物採集や観察などを行っていました。千葉は自然豊かで、全国でも上位に入る魚の水揚げがあり、水産業に力を入れています。自分の経験を生かし、より深く千葉の海と関わることができると思い、千葉県を受けることに決めました。

## Q3 職場の雰囲気について教えてください。

魚の飼育には私たち県の職員以外にも、県内の関係団体、漁業者など多くの方々が関わっており、いつも賑やかな職場です。普段は談笑することが多く和気あいあいとしていますが、一人ではできない作業も多いので、協力し、一丸となって仕事に取り組んでいます。

また、繁忙期と閑散期がはっきり分かれているので、長期の休暇がとりやすい職場です。

## Q4 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

稚魚やえさとなる生き物はとても繊細なので、手洗いや服装など衛生面を特に気をつけています。また、飼育環境などのちょっとした変化でその後の成長に大きな影響を与えることもあるので、日頃から魚の健康状態をチェックするなど、よく観察することを心掛けています。

## Q 5 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

当施設の仕事は生き物相手であり、人間の都合で動いてくれない場面がどうしても出てきます。また、繁忙期に扱う魚の数は膨大であり、病気の発生や突発的なアクシデント、日頃の管理など、気を配らなければいけないことが多くあります。

## Q 6 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

水産職は、漁業者など水産業の方々だけでなく、観光業や土木業など他の産業と関わる機会が多く、様々な視点を持ち視野を広げられることが魅力だと思います。

## Q 7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

千葉県は全国有数の農林水産業と豊かな自然環境を有しており、どこでも美味しい食べ物に出会えるところが魅力的だと思います。

## Q 8 休日や退庁後などのリフレッシュ方法を教えてください。

日帰り旅行が好きなので、外出自粛要請がないときには休日は車や高速バスであちこちを観光しています。また、職場は海に隣接しているので、休み時間はよく浜を散策しています。

## Q 9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

今は自分が担当するマコガレイについて勉強中ですが、今後はいろいろな魚の飼育方法なども学び、より専門性を身につけたいと考えています。

## Q 10 受験者へのメッセージをお願いします。

一言に水産と言っても幅広い業務内容があり、新しいことにチャレンジできる機会が多くあります。千葉県の水産をより盛り上げるために、一緒に働きましょう。



### Schedule~わたしの一日~

8:30~9:00	出勤・飼育魚とえさ生物のチェック	14:30~16:45	魚体の測定と成長の確認
9:00~11:00	飼育管理の指示	16:45~17:15	本日の業務内容の確認と明日の業務に関する打合せ
11:00~12:00	えさ摂取・水質のデータ整理・解析	17:15	退庁
12:00~13:00	昼食（近場の軽食屋で昼食）	17:15~18:00	買い物をして帰宅
13:00~14:30	えさ摂取の状況確認と飼育環境の調整		